

情報連絡員報告・12月分

総じて前月と同様の数値

～クリスマス商戦は暖冬の影響で苦戦～

<東京都中央会>

12月の情報連絡員報告は、ほぼ11月と同様の数値が並ぶ結果となった。製造業の「売上高」前年同月比DI値が11月の-3.1から12.3とプラスに転じた点が明るい材料だ。しかし、「業界の景況」は製造業・非製造業とも悪化の度を強めている。報告欄には、クリスマス商戦苦戦という声が寄せられている。また、家電小売業界から組合の長年の努力の結果、取引慣行の改善の見通しが立った旨の報告が寄せられている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

<特記事項欄より>

製粉業=11月の製粉の需給動向では、小麦粉は生産量が前年同月比0.4%減と3か月連続で前年を下回った。販売量は4.2%増となった。

弁当製造=野菜の価格は安定してきたようだ。献立を作る時、代替品などで価格を抑える努力をした。オードブルやおせちを扱っているところは臨時に人を雇った。

和服縫製=組合として年に一度組合員のために和裁用品のバーゲンを行っている。例年期末に行っていたが今年は11月20日から1か月実施した。取引業者

の協力を得て通常価格より2割程度の値引きをしたため売上げアップにつながった。

帽子製造=クリスマス商戦も暖冬の影響で大幅な落ち込みとなり苦戦状態が続いています。帽子はファッションの一翼を担っていますが、売れる売れないの要因は天候に大きく左右されます。

天幕雨覆販売=毎年のものであるが、12・1・2月は1年の中で最も売上の少ない月であり、前年度の数字がクリアできるように努力している。

建具製造=わずかながら売上高は増加したが、まだまだ回復とはいえない。生

産面に弱めの動きが見られるものの、基調としてはやや回復傾向を続けているという見方もできる。仕事量の減少は全体には見られず、昨年に比べると組合員総体のデータでは「良くなっている」が50%以上の回答となった。

塗料製造=ようやく関西ペイント(株)が1月より塗料価格の値上げを公表。シンナーメーカーは既に値上げを進めており、一般塗料メーカーが大手に追随した価格を打ち出しつつある。溶剤、樹脂類は品物が調達できないメーカーも一部出ている模様だが、かなり大幅な値上がりなので、販売価格を上げなければやっていけなくなる現状。

潤滑油製造=一時的に原油価格は弱含みで推移し、為替レートも円高ドル安が

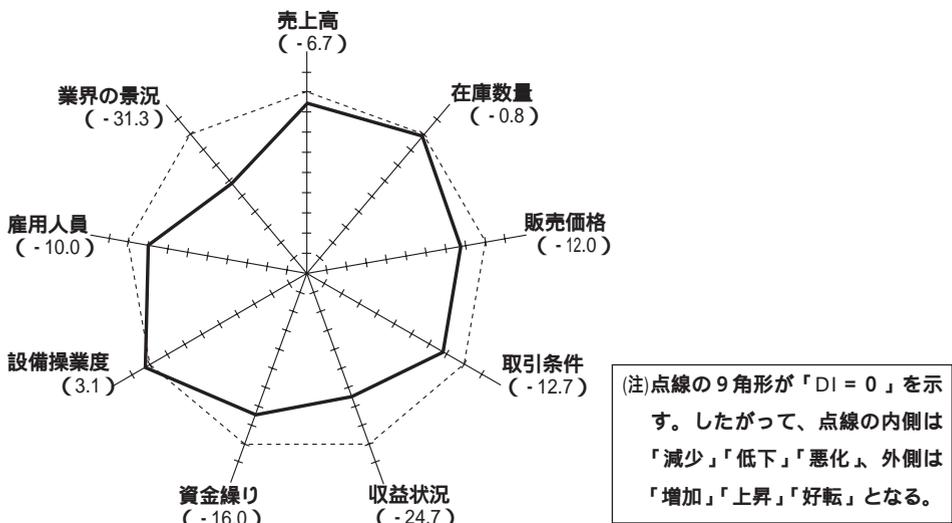
進んだものの長期的には原油価格は強含みで推移すると見られる。したがって、これまでの原油並びに容器・添加剤等副資材のコスト高の製品への転嫁未達分の転嫁浸透努力を要す。

<要望事項欄より>

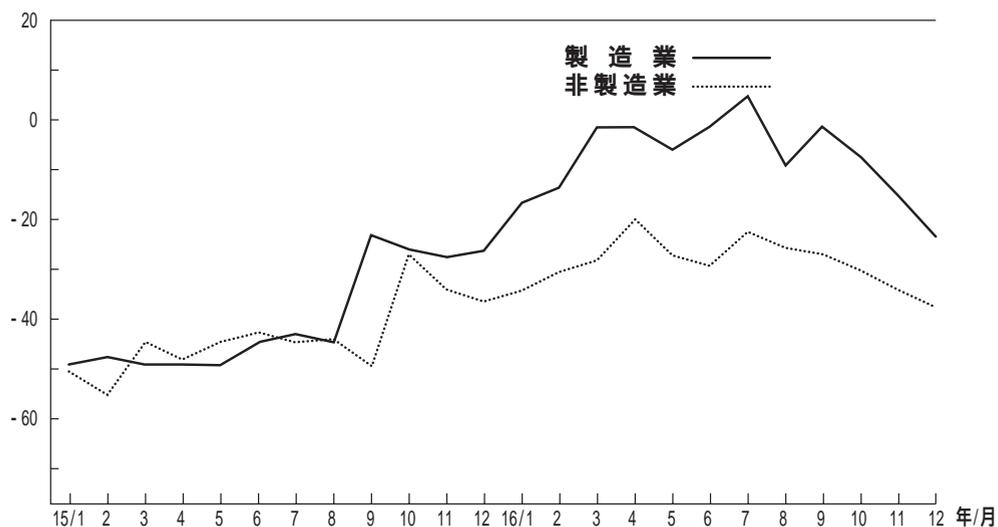
*新規の環境保全関係の規制を導入するに際しては、経済性、社会性、対応技術の有無や指導等を広範に検討されたい。土壌汚染対策等では、混乱が起きている。 [メッキ業]

*組合として長年にわたり公取委等行政に働きかけた結果、①優越的地位の濫用の告示見直し(平成17年3月までに) ②家電版ガイドラインの作成(流通・取引慣行に関して)が実行されることとなった。 [家電製品小売]

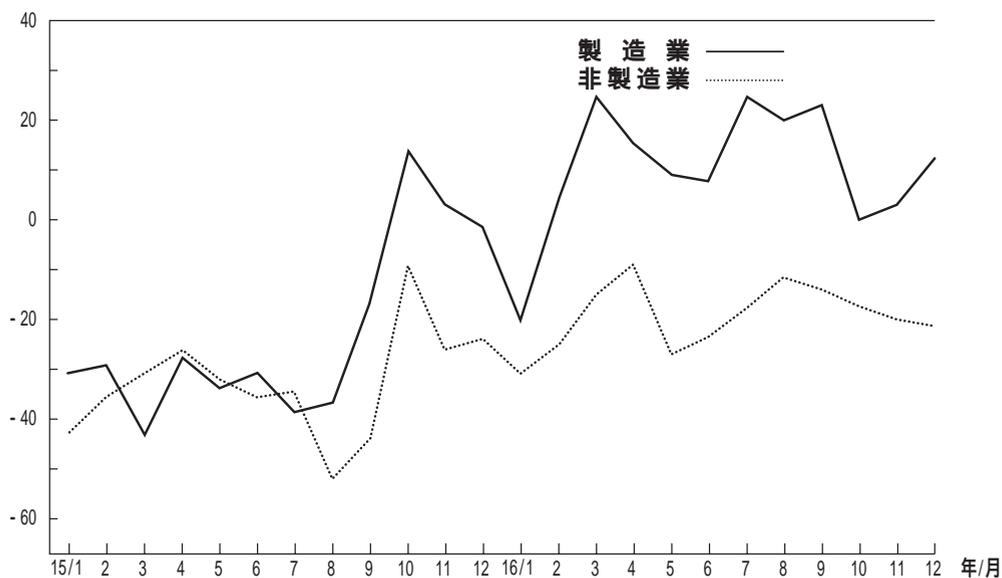
12月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)



業界の景況DIの変化 (H15.1 ~ H16.12)
(前年同月比)



売上高DIの変化 (H15.1 ~ H16.12)
(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。